

名桜大学「にしこうカラハイ」子育て・学習支援事業 報告書 NO.2

2017年10月2日(月)

名桜大学の『にしこうカラハイ 大西区子育て支援事業』への協力は、学生による児童生徒の学習支援「未来塾」開催と、子育て親への支援事業として看護学科の教員による出前授業が予定されています。学生による学習支援は、夏休み等の長期休み期間は、毎週火・木・土の午前9時から12時まで、それ以外は、毎週水(16:00~18:00)・土(9:00~12:00)に開催され、2月まで継続して行われます。

夏休み期間中は、10人程度の小学生、高校生が集まり、各自の宿題等の支援を学生等が行っていましたが、勉強以外にも大学生のお姉さんたちと一緒に遊べることも楽しみにしていたそうです。

9月の名桜大学の支援事業は、学生による学習支援の外に、講演会も開催されました。今後も多彩な企画が予定され、名桜大学の出前講座も組み込まれています。

●「子どもの成長を願って！ ～親として 教師として～」のテーマで、9月16日(土)午後2時から大西区公民館ホールで講演会が開催されました。参加者は30名と少なめでしたが、子どもの夢を描くのも叶えるのも親の期待があればこそ！高安美智子先生の子育て体験講話は蘊蓄があり有意義な内容でした。

(講師 名桜高安美智子教授)

(真剣に聞き入る講演会参加者)



「母親になったその瞬間から教育者になる！」そうならなければ子どもは育てられない。その責任を果たすためには、教育について一生懸命勉強しなければいけない。

(数学者 遠山啓)

(大西区民広報 平成29年10月号より抜粋)

<参加者の感想>

- ・先生のような子育てに同感です。子どもと遊び、子どもと笑い、子どもと泣き、…子ども達が私の宝です。
- ・親の学びが本当に大切だと思います。子どもの非認知能力を高めることを少しずつ実践していきたいと思っています。自分の子育ての目標を今一度しっかり見つめて、子ども達と話し合っていこうと思いました。
- ・子育て中なので身にしみる話が沢山あり勉強になりました。小学校に上がるまでに！！保育園時代に身に付けていくことの大切さ！子どもの吸収力を信じて、育てていきたいと思いました。
- ・これまで自分が一生懸命やったことへのエビデンスの様々な様々、お話が聞けて良かったです。

『子育て支援事業』学習支援部では、9月23日(土)に、高安美智子先生の「折り紙で算数を学ぶ」を実施しました。公民館(未来塾)に30名以上の親子が参加して、折り紙で楽しく算数を学びました。

(大西区民広報 平成29年10月号より抜粋)

★名桜大学出前講座大西教室「中国語講座」が10月5日から始まります。講師は、名桜大学 中山登偉先生です。

